

低所得の高齢者 にも住民税課税

弱者に新たな負担増

4月臨時市議会で、北茨城市市税条例の一部を改正する条例が審議されました。国の法律改定にともなう市長の専決処分の承認をするものでした。

その内容は、低所得の高齢者への非課税措置を廃止するというものです。具体的には、これまで65才以上で所得125万円以下の人

は住民税がかかりませんでした。それが、来年からは2年の経過措置を経て税金を納めなければならなくなります。

さらに、今まで非課税世帯として区分されていたものが課税世帯となるため、介護保険などの負担も上がる可能性があります。

日本共産党市議団は、弱者への新たな負担増は認められないという立場から、国の法改定にともなうものだとはいえ市長の専決処分の承認には反対しました。



桜

大北川の堤防。常磐線の鉄橋の近くです。関係者に大切に見守られて若木が育っています。



本市は0ですが、日立には2名、高萩にも1名の女性委員がいます。(2月、合同研修会にて)

女性農業委員の 選任について

議会議長から
「お願い」

4月21日に開かれた市の農業委員会総会で、茨城県農業会議の会長名で、「市町村農業委員会改選に伴う女性農業委員選任のお願いについて」の文書が届いていました。その抜粋は下記のとおりです。

これを受け、当市農業委

北茨城市議会 常任委員会所属

(議席順)
敬称略

総務

大平博之 高橋主計
志賀秀之 鈴木重敏
蛭田千香子 西野英夫

文教厚生

村田仁人 福田良子
新保栄 鈴木和栄
豊田睦美 今井路江

産業

松川寿郎 村田洋文
前田利勝 鈴木康子
滑川光仁 鈴木啓一

建設

鈴木恒夫 福田明
緑川貞幹 鈴木信男
豊田海洋 豊田弘俊

(は委員長 是副委員長)

市町村農業委員会改選に伴う 女性農業委員選任のお願いについて

茨城県農業会議
会長 葉梨衛

食料・農業・農村基本法の役割として、優良農地の確保と有効利用、農業の担い手の育成など構造政策の推進が強く期待されているところであります。

こうした役割を担うためには組織自らが改革に努め、行動する農業委員会として実践活動を強化することが重要であります。

本年度も、県内の15市町で改選が行われ、地域農業を担う行動力のある多様な人材が

特に、農業従事者の過半を占める女性が農業・農村の振興・活性化に果たしてきた役割は大なるものがあり、また現に広く活躍されている現状を踏まえ女性の農業委員が選任されますよう格別のご配慮をお願いいたします。

員会としても、市長および市議会議長に女性農業委員選任についての要請をおこなうことを決めました。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田明
☎43-0468

「北茨城民報」は
インターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>